

キャラクター名
八重垣 尾張

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン パロール	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	学生
オプション	オルクス	年齢	14	性別	男
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	心の壁	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	12
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	12
精神	3	0	0			3	戦闘移動	17
社会	2	0	0			2	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		R C	1		交渉		
回避			知覚	1		意志	5		調達	11	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
クリスタルシールド	
コネ: 情報収集チーム	
コネ: 手配師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
業師	P	N		
八重垣大和	P 尊敬	N 不安		
八重垣武蔵	P 憧憬	N 劣等感		
霧谷雄吾	P 尽力	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 26 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
援護の風	4	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定の直前に使用。ダイス+lv個。R1								
ウィンドブレス	2	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: 達成値+lv*3								
エンジェルボイス	1	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: ダイス+lv。C値-1(下限値6)								
導きの華	4	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 達成値+lv*2								
要の陣形	2	3	メジャー	視界	3体	自動	-	
効果: 対象を3人に変更。シナリオlv回								
限界突破	1	3	セット	至近	自身	自動	80%	
効果: R1回のエフェクトを2回使用可能。シナリオlv回								
時の棺	1	12	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 判定前に使用。判定強制失敗								
先手必勝	1	-	常時	-	自身	-	-	
効果: 行動値+lv*3								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「ヒヒヒッ！薄汚いガキの方が仕事ができることって事、あるんすよ」
「大層なコードネーム貰ってますが、直接戦闘は怖えんで遠慮しますわ」
「ヒヒヒッ！うちの義父に怒られちゃうんでね、ちゃんとやる事はやるんすよ」
「一家に一台尾張サンってね！！仕事が出来るのが取り柄なモンで！」

性格は卑屈かつ後ろ向き。ビジネスライクな関係性は築けるが、それ以上踏み込まれるのが嫌いな人間。
座右の銘は、「自分を守るのは自分だけ」。これは、彼が拾われるまで自分1人で生きていた事に起因する。
物心ついた時には天涯孤独でオーヴァードだった彼は、気味の悪い子供と周囲から迫害を受けていた。その為、自分の身は自分で守らなきゃいけないという認識が強く染みついている。

戦闘方法は後衛からの支援行動。日本支部直属のエージェントとして各地を回らなければならないので、どの支部に派遣されても自分の有能性を示せるように自分の能力を調整しなおした。
防衛型でなく支援型になった理由は、自分を拾ってくれた育ての親に憧れたという理由もある。

設定
天涯孤独で拾われるまでは自分の力で生き抜いていたオーヴァード。
オーヴァードとしての力を無自覚に使用していたところ、能力を暴走させて派遣されてきたUGNの部隊に保護された。
常識も何もかも分からなかった彼を引き取ってくれたのが、当時鎮圧部隊の指揮を執っていた八重垣大和という人物だ。八重垣大和は身寄りのない彼に新しい名前と居場所を与えてくれた。
また、UGNに協力して生きるか可能な限り普通の生活を送れるようにするかを自分自身の意志で選ばせてくれた。
その時から、彼は八重垣尾張として生きていくことを決めたのだ。